

巻頭言



取締役社長

浜崎 祐司 Yuji Hamasaki

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

また、日頃より「明電時報」をご愛読いただき厚く御礼申し上げます。

我が国の経済は、政府や日本銀行による経済政策によって円高是正及び株価の上昇など、景気回復の兆しが見え始めています。しかしながら、電気料金や原材料価格の上昇などで、国内景気の状態は依然として先行きが不透明です。

このような中、当社グループでは、中期経営計画「POWER5 フェーズⅢ」を着実に展開し、製品力・営業力・海外事業の強化、利益を生み出すためのマネジメント改革などに取り組むとともに、新たな中長期の成長戦略の策定を行っております。

特に中長期的に成長が期待できる「電力・エネルギーシステム」、「自動車、鉄道などの輸送システム」、「水処理システム」などの各分野向けに変電・配電製品、発電製品、電力変換製品、ICT製品など独自性のある製品を組み合わせたシステムの創出を柱に、成長基盤の確立に取り組んでおります。

本号では、このような取り組みによって得た技術・製品開発の成果をご紹介します。

研究・開発分野では、マルチレベルインバータ技術やソレスタ素子の高性能化技術を確立しました。

社会システム分野では、メガソーラ発電所の建設を行ったほか、非常用発電機や無停電電源装置などを納入しました。

水処理分野では、下水・排水処理用セラミック平膜を用いた工業排水再利用設備によって、良好な水質を維持した工業用水の造水を実現しました。

産業用機器・システム分野では、高層ビルをターゲットにした高速エレベータ用インバータを開発しました。

メンテナンス分野では、保守・点検に加え、震災以降に需要が高まった電源設備のメンテナンス、設備の状況や余寿命の診断を付加した提案活動に積極的に取り組みました。

以上、平成25年における成果の一端をご紹介しますが、当社はお客様の視点に立った製品の提供を目指して更なる技術の研さんに努める所存です。皆様方の引き続きのご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。